

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	岩国市障害者サービスセンター		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月14日		～ 令和7年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月20日		～ 令和7年 1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 7日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達障害児、肢体不自由児、医療的ケア児を受け入れ支援している。	複数の部屋を使用し、グループに分かれて活動することで、安全に子どもに合わせた集団活動や個別支援に取り組んでいる。	年齢や人数に合わせた個別や集団活動、あそびや季節行事など、さまざまな経験の機会をつくる。地域住民や地域の子ども、きょうだい児と交流する機会を増やす。
2	個別に合わせたコミュニケーション支援を行っている。	視覚的ツールを活用して、理解や表出、身辺自立にも取り組み自発を促す支援に取り組んでいる。	研修への参加やミーティングでの振り返り、情報共有などを積極的に行いながら、職員の支援力の向上を目指す。
3	相談支援専門員や他機関との情報共有を積極的に行っている。	サービスを併用している他機関との担当者会議や事業所見学など行い、情報共有や支援の統一を図っている。	家族とも情報共有し、関係機関がチームとして支援に取り組めるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所として、家族に対する家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会の実施ができなかった。	事業所として実施が難しいものに関して、児童発達支援センター等関係機関と連携するなどできなかった。また、情報提供の機会もなかった。	家族等が参加できる研修会の企画や他機関が開催する研修会等の情報提供を行う。就労で参加が難しい家族に配慮し、内容や参加方法など検討する。
2	保護者会の開催など家族同士の交流やきょうだい児支援などの機会が持てなかった。	ニーズの把握や企画する力が十分でなかった。	行事へ招待したり、交流会を含めた研修会を企画したりするなど開催をめざす。
3	マニュアルの策定や訓練、研修などを実施しているが、保護者の認知度が低い。	配布物に実施した旨を掲載しているが、発信力が弱い。HPやSNS等を活用していない。	活動の様子を含め、HPやSNS等を活用した情報発信に取り組む。新しい事柄や変更があった場合などは、わかりやすく丁寧に説明する。